

市政に関する地域座談会実施報告書

◇平成23年度 第2回(通算55回) 西浦1町会

開催日時	平成23年11月1日(火)午後7時30分～午後9時00分		
会場	西浦公民館	出席者数	13人 (男9・女4)
地域座談会の内容(市長講話・質疑応答の内容等)			
<p>《市長講話》</p> <p>今年、3・11大震災で世の中、生活への考えも大きく変わってきた。行政においても、震災のその後の対応に今後も頑張っていかなければならない。</p> <p>市においても、新第5次振興計画を策定し「災害につよい寒河江」を重点プロジェクトとし、安全安心「共助のさがえ」推進に取り組んでいます。</p> <p>山形県、寒河江市共に災害が少なく市民、県民、行政の備えが本気になっていない。防災無線の設置率も全国に比し低い、と言う報道もあった。</p> <p>しかし、寒河江市に活断層等も見つかっており、地震は今後30年内に必ず来ると言われており、地震、洪水等に対し防災をすすめなければならない。</p> <p>地震は市全体に起きる、初動体制は地元でしていただかなければならない。自主防災組織に補助金を出している。西浦町会も組織化してもらえると聞いている。災害時に拠点となる市役所を守っていかなければならない。当市の借金180億、預金は12億。べらぼうに多くの借金ではない。以前より、良くなっている。が、財政的にも新庁舎建設にはならない。市役所の耐震化は調査の上、免震工事を実施する予定。現在、小中学校の耐震化工事は終了。保育所については今年度中に耐震診断を終了し、来年度工事を行う。安全安心な街をつくりながら施策を展開していく予定です。</p> <p>《質疑応答》</p> <p>問① この町会は昭和46年頃、市の第1期住宅分譲地として、当時は大変良かったが、袋小路の4m幅道路が多くあり、年々、住宅が密集してきて、火災等を恐れている。このたび、自主防災組織育成事業補助金を申請しました。よろしくお願ひします。行き止まり道路が多くあり、緊急時に消防車や救急車、除雪車等が進入しにくい。是非、雇用促進住宅南側道路を直線に延伸してほしい。</p> <p>【答】 町内会で意思統一なっているのであれば、地域の要望として今後、整備について検討していく。(以前にも要望は出ている。)</p> <p>問② 私道で双葉そば裏の6mの袋小路について、一度も除雪してもらったことがない。除雪してもらえないか。</p>			

【答】 私道も要望してもらえれば可能だと思います。除雪はどうしても子供たちの通学路を優先しているのです、遅くなったりしてしまう。その辺は話をして、10回要望して10回実施とはいかないと思うが。

【答】 (総務課長) 私道の除雪については、前もって代表者を決めていただいて申請していただければ、実施可能です。私の方からも建設管理課に話をしておきますので。

問③ 市営住宅(西浦)の今後について、計画等を具体的に聞きたい。この地域は13~14年前から下水道が供給開始になっているが、公的建物が未だ汲み取り式である。公民館東側の水路に市営住宅の雑排水が流れて、泥等がたまり、匂いもする。早急に改善してほしい。

【答】 市営住宅については、ここはS46、47年の建築ですが、市内に古いものが3カ所ある。これらの建て替えを含めた改修について、昨年あたりから、検討をはじめている。今、住んでいる人もいるので、すぐという訳にはいかないし、新しく建てると入居料がとんでもなく跳ね上がる。その辺、場所も含めて統合化も検討しながら、どういう順番で整備するか、23年度中には方向性を決めたいが、実施には2~3年はかかると思う。

側溝、用悪水路等、整備をしていかなければならない。要望は前にもいただいている。現場を見させていただいて順次、整備を進めていきたい。

問④ 雇用促進住宅の建物について、今後どうなるのか。現在、27世帯居住されているが。

【答】 今回の震災の2次避難時に雇用促進住宅を活用した自治体もあったが、ここは避難者に見てもらったが誰も希望しなかった。まだ、住んでいる方がいらっしゃるのですぐには難しいと思うが、機会を捉えて雇用促進機構に話を聞いていきたい。

【答】 (政策推進課長) 昨年、雇用促進機構で、今住んでいる人に退去をお願いしたい旨の文書を出したとの事ですが、今回の震災の影響でその後の動きが伸びてしまっていると聞いております。最終的には、出ていかれるのを待つ方向のようです。

【答】 その内、雇用促進の方とも話をしなければならぬ。市営住宅と絡めてうまく移行できないか等、誠意をもって対応できるよう、今後検討したい。

問⑤ 公民館の敷地、借地料について無償にして頂けないか。市営住宅等を抱えている特異な町内会なので、そここのところを考慮してもらいたい。

【答】 いろんな地域で公民館を建ててもらっており、自前で建てているところも多く、そういうところと比較すると、無償というのはなかなか難しい。土地、建物すべて自前のところもある。

今年度から減免率を70%にし、西浦公民館借地料は76,000円(H22)→40,000円(H23)にさせてもらった。

問⑥ 市営住宅について、あと4～5年我慢する必要があるんですね。

市営住宅の前の家の者ですが、行き止まりの市道で、冬はその奥に市営住宅の人が路駐しており、除雪もできない状態。何とか除雪してほしい。火災があると身動きできない。

排水についても大雨が降ると水が溢れ、衛生面でも残飯がたまり、蚊も発生するので大変。側溝が深く、土手の部分が崩れて、流れが悪くなっている。4年も我慢できない。

【答】 除雪はちゃんとしてもらうようにします。その時になったら、再度、市に言っていただけると、ちゃんと対応します。

市営住宅については、できるだけ早めに計画作成し、整備を進めていきたい。それとは切り離して、環境整備について努力していきたい。側溝など現場を見せてもらうときには協力いただきたい。

問⑦ 公民館借地料、平成5年～平成22年まで76,000円だったが、半分にしていただき、ありがとうございました。公民館の安全、安心のうえで、公民館の耐震診断についての助成制度はありますか。

【答】 西浦公民館は平成4年に建設されており、昭和57年以降に建てられた建物は、基準をクリアしていることになっており、耐震診断の対象になる建物ではない。多分、大丈夫でしょう。